

第87回メーデーの取り組み

2016年4月8～9日 第722回中央執行委員会決定

(1) メーデーの歴史

メーデーは、1886年(明治19年)5月1日、アメリカのシカゴで労働者が「8時間労働制」を求めてゼネストで立ち上がったのを起源としています。

日本では、1905年からメーデーを記念した茶話会や街頭演説などが行われてきましたが、労働団体が実施したのは1920年(この年は5月2日。翌年からは5月1日)、8時間労働制や失業の防止、最低賃金法の制定などを掲げて上野公園で行われたのが始まりです。その後第二次世界大戦中の10年間は禁止されましたが、1946年に再開されました。1920年から数えて、今回で87回目になります。

(2) 第87回メーデーの大切な意義

①第87回メーデー

「戦争法廃止」、「TPP反対」、「労働法制改悪阻止」、「雇用の安定」、「生活できる賃金・労働条件」、「被災地の暮らしと生業の再建と再生」、「原発再稼働・輸出反対」、「沖縄新基地建設反対」など、労働者・国民の要求課題を一つに束ね団結し、安倍政権による「暴走政治」を許さず、いのちと暮らし、平和と民主主義・立憲主義を守るたたかいの決起の場として開催されます。

②国民要求実現へ、共同をさらに広げるメーデー

全国各地で開催されるメーデーは、労働者の要求を実現するたたかいの総決起の場であるとともに、これら国民的な課題の要求実現に向けて、さらに共同の運動を広げる機会でもあります。たたかいの主人公として私たちの要求を「TPP反対」、「地域農業を守れ」など、全国各地で要求をかかげ、運動の飛躍をめざして、メーデーを成功させましょう。

(3) 全単組でメーデーに取り組もう

①働き続けられる職場と地域をめざし、働く者の総決起に参加しよう

国民的な要求の実現とともに、働き続けられる職場と暮らし続けられる地域に向けて、「格差と貧困の解消」、「人間らしい生活ができる社会の実現」をめざし取り組んでいる、多産業で働く仲間と団結する場でもあります。各地のメーデーにすべての単組・職場から参加し、地域共闘を広げるよう取り組んでいきます。

また、全世界のメーデーに参加者とも連帯し、メーデーの成功をめざします。

②「TPP批准阻止」、「農協改革」反対を掲げて参加しよう

TPP合意をめぐっては、国会決議を反故にし、また、自民党が掲げた「ウソつかない！ TPP断固反対！ぶれない！」とした公約さえも投げ捨て、国民的な議論も理解もされないまま、TPP国会批准を推し進めようとしています。

そして、「農協改革関連法」の強行によって、農協系統を抑え込み「地域農業・農協解体」を進めようとしています。組織再編・事業分離をはじめとした「リストラ・合理化」は、私たち労働者へのガマンにとどまらず、地域農業を支える家族農業者と地域住民の暮らしを奪う攻撃です。

こうした攻撃に加担せず、農業協同組合の役割発揮がいまこそ求められています。

安心・安全な国内農産物をつくり、安定した食料を支えているのは家族的農業であり、地域で頑張っている私たち農協・農業関連団体に働く労働者です。

各単組・支部分会は、メーデーに総決起し「TPP批准阻止」、「農協改革反対」の共闘を広く訴えましょう。

(4) 第87回メーデースローガン

①基本スローガン

「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」

②全農協労連のメーデースローガン

- i) 戦争法廃止。民主主義・立憲主義を取り戻せ。戦争法廃止へ野党は選挙協力を。
- ii) 安部政権によるグローバル大企業のための「TPP」「農協改革」はやめ、安心・安全な国内食料と農林漁業を守れ。国民のいのちと暮らし、雇用と地域社会を守れ。
- iii) すべての労働者の賃上げを。安定した雇用と仕事、全国一律最低賃金1,000円以上の実現で、内需主導の景気回復を。
- iv) 労働法制の改悪、リストラ・「合理化」反対。労働時間を短縮し長時間過密労働をなくせ。
- v) 消費税増税反対、社会保障の改悪をやめて、安心してらせる社会の実現を。
- vi) 被災者が希望の持てる復興を急げ。原発の再稼働をやめ、原発ゼロ・再生可能エネルギーで安全な社会の実現。
- vii) 明文改憲反対。平和外交の強化を。辺野古新基地建設反対。オスプレイ配備・訓練反対。核兵器の全面廃止を。
- viii) 政治買収につながる企業団体献金と国民の税金で賄われている政党助成金の廃止。国会議員定数削減反対、民意が反映できる選挙制度の実現で、国民本位の政治を。

以上